

第2回沖代作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月6日 18時～19時30分

開催場所: 沖代公民館 研修室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	3名	3名	3名	2名

- あいさつ、アイスブレイク

事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。

その後、第1回と同じ4つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。

- グループワーク①

第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。

- グループワーク②

再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。

まとめ

- つながり、支え合いのあるまち: このテーマでは、孤立を防ぐための声かけ、自治会の加入促進、世代や国籍を超えたイベントの開催、子供食堂の開設、そして男性や外国人も含めた誰もが交流できるサロンの設置についての意見がでた。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、子供が安全に集まれる場所の確保、郵便配達員やヤクルト配達員と連携した地域見守り活動の強化、子供の通学時の見守り、そして災害時の避難所での分かりやすい表示や情報伝達の整備についての意見がでた。また、水害への対応力を高めるための防災訓練の必要性について言及した。さらに、歩きやすい歩道の整備として、道幅の拡張、バリアフリー化、段差の解消、そして防犯対策としての街灯設置が求められていることを共有した。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このテーマでは、住みやすさ、子育て支援、多様な交流の場、多文化共生、高齢者支援(移動や食事)、および地域としての誇りといった具体的な改善案が提示された。
- 地域が元気になるまち: このテーマでは、住民が参加したくなる自治会作り、草花が多くポイ捨てのない綺麗な街並、歩く人が増えることによる人との繋がり、公園へのストレッチ器具や鉄棒等の設置による健康促進、高齢者の活躍、そして、将来戻ってきたくするような中津への愛着の醸成であると提言した。

